

落橋防止壁の設計



道路橋示方書に基づき落橋防止対策を行います

価格 **50,000円** (税抜)

適用基準・参考文献

- 道路橋示方書 同解説Ⅳ 下部構造編 (日本道路協会)
- 道路橋示方書 同解説Ⅴ 耐震設計編 (日本道路協会)
- 既設橋梁の耐震補強工事例集 (海洋架橋・橋梁調査会)

製品概要

本システムは、「既設橋梁の耐震補強工事例集」を参考に「道路橋示方書・同解説Ⅴ耐震設計編」に基づき、落橋防止対策を行います。

パフォーマンス

沓座拡幅設計 / 落橋防止壁の設計 / 横変位拘束

機能詳細

沓座拡幅現状調査

- 必要沓座幅を計算し、既設下部工の「けたかかり長」が満足しているか照査を行います。
- 支承条件は「ゴム支承」「固定支承」「可動支承」から選択できます。
- 平面線形は「直橋」「斜橋」「曲線橋」から選択できます。
- 落橋防止構造の有無を選択できます。
- 橋台の水平耐力PLGの算出が可能です。

沓座拡幅の設計

- RCによる拡幅が鋼製ブラケットによる拡幅ができます。

落橋防止壁の設計

- 橋軸方向は落橋防止壁、直角方向は横変位拘束構造として設計できます。
- 下部工形状は「橋脚」「橋台」から選択できます。
- 応力度照査、耐照査が可能です。
- セン断力に対してコンクリートの負担を考慮するか、しないか選択できます。
- 橋台の水平耐力PLGの算出が可能です。

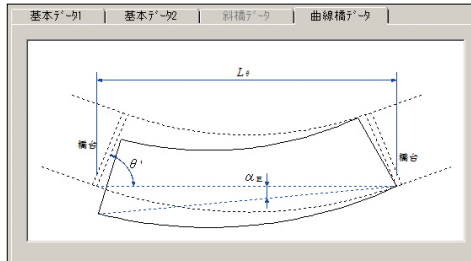
その他の機能

- 出力帳票は「出力ツール (有償版) (別売) により Microsoft Word・Microsoft Excelのファイルへ変換できます。

スクリーンショット

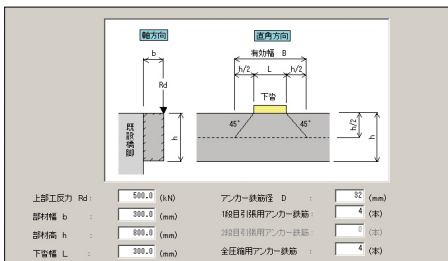
● けたかかり長-曲線橋データ

● けたかかり長-曲線橋データ



● 沓座拡幅-使用材料

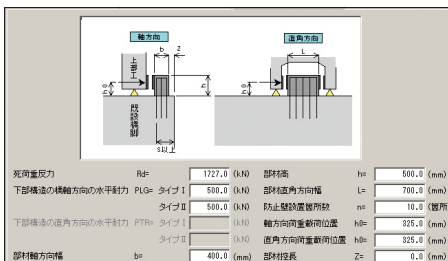
● 沓座拡幅-形状



● 落橋防止壁-使用材料

● 沓座拡幅-使用材料

● 落橋防止壁-形状



● 計算結果